

公益社団法人 東京生薬協会

令和 3 年度

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

事業報告書

# I 令和3年度 事業報告

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

### 1) 薬草観察会 (学術委員会)

#### ① 春の薬草観察会 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

- ・開催日：令和3年4月25日(日) 10:00~15:00
- ・場 所：東吾野(埼玉県飯能市)
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲 清二、鈴木 幸子、福田 達男(敬称略)

#### ② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和3年10月30日(土) 10:00~15:00
- ・場 所：長沼公園(八王子市)
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲 清二、鈴木 幸子、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：31名

### 2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：令和3年11月6日(土) 10:00~15:00
- ・場 所：東京都薬用植物園 集会場(林地)
- ・講 師：御影 雅幸先生(東京農業大学 教授)
- ・演 題：日本民間薬のルーツ
- ・参加者：230名受講
- ・入園者：1,123名(対前年比99%)
- ・記念品配布者数：250名、(花の苗250鉢、お土産袋250袋)

### 3) 第36回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、(公社)東京生薬協会
- ・開催日：令和3年11月14日(日) 12:55~18:15
- ・会 場：オンライン開催
- ・テーマ：葛根(カッコン)
- ・参加者：250名

### 4) 薬用植物・生薬に関する講座 (学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう開催

- ・テーマ：生薬・漢方からのセルフメディケーション
- ・開催日：令和3年8月～令和3年12月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 8月22日（日）	生薬のチカラは漢方のチカラ Ⅲ 昭和大学薬学部 教授 川添 和義先生	女性の漢方Ⅱ ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子先生	延期
【第2回】 9月26日（日）	不老不死の思想と東洋医学 北里大学薬学部生薬学教室 教授 小林 義典先生	認知症と抑肝散 青山杵渕クリニック 院長 杵渕 彰先生	延期
【第3回】 10月24日（日）	医薬品開発のもとになった薬用植物 星薬科大学 名誉教授 南雲 清二先生	漢方で健康寿命を延ばす 東海大学医学部 教授 新井 信先生	50
【第4回】 11月28日（日）	民間薬の原料になる植物について 東京理科大学薬学部 准教授 和田 浩志先生	健康長寿のために ①運動 ②食事 いざわ漢法クリニック 院長 伊澤 和光先生	54
【第5回】 12月12日（日）	セルフケアと生薬—医薬品かサプリメントか— 日本大学 名誉教授 安川 憲先生	日常に良く見られる病気の漢方Ⅱ 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘先生	54

#### 5) 第14回 OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

（事務局）

- ・主催：（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、  
日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会  
（公社）東京都医薬品登録販売者協会
- ・後援：厚生労働省、東京都、千代田区
- ・開催日：令和3年10月8日（金）～9日（土）
- ・形式：神田明神・文化交流館＋YouTube同時生配信
- ・出展社：27社
- ・内容：出展企業プレゼンテーション（12社）
- ・スペシャルインタビュー：久保田 洋子教授（日本薬科大学）  
坂口 眞弓監事（公益社団法人東京生薬協会）

#### 6) 会報の発行（7月、1月）

（広報委員会）

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

## 7) 協会ホームページの更新

(広報委員会)

- ・リニューアル2年目となる新ホームページの内容の継続的充実に努めた。
- ・「季節の花」「薬用植物国内栽培事業」「イベント情報」等各種情報を更新した。秋季にイベント10件以上を実施できたため関心も高まり、イベント一覧のページビュー数はほぼ全件中止だった前年度比160%以上の伸び(2,552→4,153件)を記録した。

### ・ホームページへのアクセス状況

期 間	訪問数	ユーザ数	ページビュー数
1Q：2021/04/01～2021/06/30	46,519	35,117	111,772
2Q：2021/07/01～2021/09/30	42,389	32,327	102,737
3Q：2021/10/01～2021/12/31	44,437	33,670	112,473
4Q：2022/01/01～2022/03/31*	31,611	24,408	74,954
2021（令和3年）年度合計	164,956	125,522	401,936
前年度3Q（2020/10/01～2020/12/31）	33,632	24,109	95,038
前年度4Q（2021/01/01～2021/03/31）	34,792	24,839	73,958
下半期（3Q+4Q）対前年比	111.1%	118.7%	110.9%

\*2022年3月25日までの実績値より推計

リニューアル後の同条件で比較可能な下半期については、対前年比で110%～120%のアクセス数の伸びとなった。

### ・令和3年度 下半期 アクセスの多かったコンテンツ

コンテンツ	ページビュー数
新常用和漢薬集：個別生薬合計（次表に上位10種内訳あり）	95,112
季節の花（東京都薬用植物園）：植物紹介	28,878
新常用和漢薬集：目次	18,213
TOPページ	7,972
新常用和漢薬集：処方一覧	5,528
イベント一覧	4,153
薬用植物国内栽培事業	2,322
所在地・アクセス・入会のご案内	1,422
季節の花（東京都薬用植物園）：植物名検索	1,402
薬用植物・生薬に関する講座	1,269

・令和3年度 下半期 「新常用和漢薬集」のうちアクセスの多かった生薬上位10種

生薬品目名	ページビュー数
ケツメイシ	4,126
カンゾウ	2,816
オウバク	2,622
オウレン	2,602
ブクリョウ	2,432
ダイオウ	2,382
キジツ	2,311
チョウトウコウ	2,262
センナ	2,248
トウニン	2,241

8) ふれあいガーデン事業

(事業管理委員会)

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10月9日までと3月4日は、中止)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・令和3年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の3者共同事業体にて、園内400㎡を対象に薬用植物に関連した事業。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
6月	19日(土)	野草・薬草のコケ玉・春	吉澤 政夫	中止
	26日(土)	ハーブソルト	浅井 昭子	//
7月	3日(土)	押し花を楽しむ	半谷京子	//
9月	11日(土)	秋色リース	田淵清美	//
	25日(土)	もっと楽しめる薬用植物	出澤清明	//
10月	2日(土)	季節の植物で染める草木染	山浩美	//
	9日(土)	ハーブローブ	浅井 昭子	//
	23日(土)	アレンジレッスン 秋冬	田淵清美	19
11月	13日(土)	メコノプシスの蒼に魅せられて	富山 稔	31
	20日(土)	落語に見る食の風景 その5	一升亭吞介	45
12月	4日(土)	ハーブ王子降臨	山下智道	49
	11日(土)	植物・木の実と野鳥たち	吉澤政夫	28
3月	4日(金)	健康講座	東京薬事協会	中止

9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方(18局)と照合する改訂作業を実施中。公開品目数は、143生薬。

## ■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その2）

### 【東京都薬用植物園受託事業】

（事業管理委員会）

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

#### 1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応：386件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：1,180件

園内管理：土、日、祝日対応：116日

年間来園者数：48,176人（対前年比89.04%）

(2) 栽培補助業務（標本栽培区、温室、育苗その他）：延べ1,951人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業（ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務）：  
延べ423人/年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：14日間実施、参加者数：735名  
協会の応援人数延べ：47人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	5,000部
写真で見る絶滅危惧種植物	0部
「四季の薬草」パンフレット	5,000部
ケシ鑑別マニュアル	0部
種子交換リスト	65部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	220部
野外展示用ラベル及び立て札	252枚
ケシ講座他	2,000部
アサ（大麻草）鑑別マニュアル	0部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

#### 2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回～5回は、中止）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1回	4月21日(水)	日本民間薬のルーツ	御影 雅幸(東京農業大学 教授)	中止
2回	5月20日(木)	漢方薬を効かせるための工夫	新井 信(東海大学医学部 教授)	//
3回	6月10日(木)	日本茶のこと、狭山茶のこと	小田部 家秀(入間市博物館 学芸員)	//
4回	7月16日(金)	「東亜-北米型」の分布を示す植物	門田 裕一(国立科学博物館 名誉研究員)	//
5回	9月14日(火)	知ってますか、江戸東京野菜	福島 秀史(株式会社小城プロデュース)	//
6回	10月21日(木)	ニンジン栽培の歴史	南雲 清二(星薬科大学 名誉教授)	33
7回	11月11日(木)	アレルギー疾患の漢方治療	大野 修嗣(大野クリニック 院長)	35
8回	12月14日(火)	庭木の手入れ	田中 克佳(株式会社山水園)	42

## (2) 薬草観察会の開催

### ① 春の薬草観察会

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

- ・開催日：令和3年4月25日(日) 10:00~15:00
- ・場 所：東吾野(埼玉県飯能市)

### ② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和3年10月30日(土) 10:00~15:00
- ・場 所：長沼公園(八王子市)
- ・参加者：31名

## (3) 薬草の普及啓発講座

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10月9日までと3月4日は、中止)

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
5月	1日(土)~16日(日)	ケシのパネル展	展示	○		中止
	5日(水)・6日(木)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		//
6月	19日(土)	野草薬草のコケ玉・夏	吉澤 政夫		○	//
	26日(土)	ハーブソルト	浅井 昭子		○	//
7月	3日(土)	押し花を楽しむ	半谷京子		○	//
	28日(水)	夏休み親子植物教室	中山 麗子		○	//
8月	29日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		//
9月	11日(土)	秋色リース	田淵清美		○	//
	25日(土)	もっと楽しめる薬用植物	出澤清明		○	//
10月	2日(土)	季節の植物で染める草木染	山浩美		○	//
	9日(日)	ハーブローブ	浅井昭子		○	//
	23日(土)	アレンジレッスン秋冬	田淵清美		○	19
11月	13日(土)	メコノプシスの蒼に魅せられて	富山稔		○	31
	20日(土)	落語に見る食の風景 その5	一升亭 吞介	○		45
12月	4日(土)	ハーブ王子降臨	山下 智道		○	49
	9日(木)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子		○	32

12月	11日(土)	植物・木の実と野鳥たち	吉澤政夫		○	28
3月	4日(金)	健康講座	東京薬事協会と共催		○	中止

#### (4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	0回	0名
② 薬務、保健所等研修	4回	14名
③ 警察、薬防協等研修	6回	34名
④ 学生研修	1回	24名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	3回	60名
⑥ 一般(団体)指導	1回	15名

#### 3) 薬用植物の栽培

① 薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

#### 4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

① 種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。

② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。

③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。

④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

#### 5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

## ■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

### 1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)



## ■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

### 1) 日本薬局方原案検討委員会に係る活動

(学術委員会)

- ① 生薬等(A)委員会：4月、6月、8月、12月、3月に開催、小栗・神本氏（ツムラ）が参加。  
生薬等(B)委員会：5月、7月、9月、1月に開催、松浦氏（ツムラ）が参加。  
各委員会の議事メモが学術委員会に報告され、試験法案の追試等の対応がなされた。

### ② 第十八改正日本薬局方（2021年6月7日公示）

PMDAのHPに下記の改正に係る意見募集が発出された。改正案については確認試験(TLC法)等について、加盟会社で追試し、結果・意見を生薬等委員会に提示した。主な意見公募は下記のとおり。

[試薬・試液]

- ・ 定量用1の改正（削除）と用語訂正：「内部基準物質」を「qNMR用基準物質」へ。  
(*E*-ケイ皮酸、ゲニポシド、サイコサポニンb2、ペオノール、マグノロール、ロスマリン酸)
- ・ 定量法の用語訂正：「内部基準物質」を「qNMR用基準物質」へ。  
エボジアミン、[6]-ギンゲロール、シノメニン、[6]-ショーガオール、10-ヒドロキシ-2-(*E*-デセン酸、(*E*-フェルラ酸、ロガニン
- ・ サイコサポニンa、d混合標準試液：定量用規格

[各条]

- ・ ケイヒ、ケイヒ油、センソ、コウボク、ハマボウフウ、ボウイ【学名】
- ・ センコツ、カロコン、テンモンドウ、ベラドンナコン【基原】
- ・ サンシシ、サンシシ末、ボタンピ、ボタンピ末【含量規格】
- ・ ゴシュユ、サンショウ、カンゾウ、サイコ【生薬の性状】
- ・ サイコ【定量法】
- ・ ヤクチ（追試中）、センコツ【確認試験】
- ・ センコツ、マオウ【純度試験（異物）】

[参考情報]

- ・ 生薬の放射能測定法：新規収載

### ③ 第十八改正日本薬局方第一追補（予定：2022年12月）

改正案の主な意見公募は下記のとおり

[参考情報]

- ・ モクツウ【基原】

[各条]

- ・ 柴胡桂枝乾姜湯エキス、抑肝散加陳皮半夏エキス【新規収載】

- ・ モクツウ【基原】
- ・ サンソウニン、センキュウ(末)、ゼンコ、ボクソク、センナ(末)、ニガキ(末)  
【確認試験】
- ・ センコツ、ショウマ【純度試験】
- ・ キョウニン、桂枝茯苓丸エキス、桃核承気湯エキス、トウニン(末)、麻黄湯エキス、ウワウルシ、エンゴサク(末)、チョウトウコウ【定量試験】
- ・ インチンコウ、ウコン、ウワウルシ、ガイヨウ、シャゼンソウ、センナ、ヤクモソウ【生薬の性状】
- ・ ジャショウシ【ラテン名】
- ・ リンコフィリン、ヒルスチン、デヒドロコリダリン硝酸化物【試薬・試液】

④ 第十八改正日本薬局方第二追補(予定：2024年6月)

改正案の主な意見公募は下記のとおり

[各条]

- ・ ショウズク、ニクズク【日本名別名】
- ・ インチンコウ、キクカ、カッコン、シンギ、タンジン、ブシ、ボクソク、モクツウ、レンニク【生薬の性状】
- ・ 鏡検【生薬試験法】

⑤ 日本薬局方外生薬規格 2021WG および日本薬局方外生薬規格に関する検討連絡会議

協会からの改正要望を集計し、集計結果を国立医薬品食品衛生研究所(以下、衛研)の丸山室長宛てに提出した。「WG」には協会から神本氏(ツムラ)が参加(2021年5月、7月、9月)。

厚労省医薬品審査管理主催の改正案に係る「検討連絡会議」には協会から松浦・神本氏(ツムラ)が参加(2021年6月、8月、9月、10月)。

⑥ 漢方処方原案作成WG

抑肝散加陳皮半夏エキス(全5社)、辛夷清肺湯エキス(全6社)の規格及び試験方法の検討結果をWGで報告。

当協会として、JP17第二追補以降の収載候補品目の全てについて審議に参加  
嶋田氏(常磐植物化学研究所)、神本氏(ツムラ)が参加：4回(2021年5月、7月、11月、2022年2月)

⑦ その他

第6回東アジア三国薬局方(生薬等)検討会

6th Conference for Trilateral Communication between East Asian Pharmacopoeia Committees on Natural Medicines (TEAPN)

日 時：2022年2月25日

場 所：WebEX (CISCO SYSTEMS)

概 要：①COVID-19 の治療のための漢方薬の貢献と考察

②伝統薬に関する現在の各国薬局方のトピック

③三国間の共通生薬におけるモノグラフの開発に関する議論

協会からは松浦・神本・小栗氏（ツムラ）が参加した。

## 2) 薬用植物栽培連携協定更新

(事務局)

- ① 八峰町、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ② 杵築市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ③ 新潟市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ④ 新発田市、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長

## 3) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施

(事務局)

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

美郷町と八峰町にて薬用動植物栽培地の視察と記念植樹

- ・見学地：記念植樹(ホオノキ植樹)、薬用植物栽培地見学
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換

## 4) 薬用動植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培  
試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培  
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ボウフウ、ホオノキ、センブリ  
津蟹（チュウゴクモクスガニ）
- ③ 新潟県新発田市薬用植物試験栽培  
試作品目：ヤマトトウキ、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ、オケラ、クロモジ
- ④ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ、ゴミシ
- ⑤ 福井県高浜町薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、シャクヤク、オケラ、ハマボウフウ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ゴシュユ、コウホネ、カノコソウ、センブリ、ムラサキ
- ⑥ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培  
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、シャクヤク、オケラ、カワラヨモギ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ

⑦ 大分県杵築市薬用植物試験栽培

試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、シャクヤク、カラスビシャク、  
ホソバオケラ、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、カンゾウ  
キキョウ、カノコソウ、ハナスゲ、ベニバナ、サフラン、ムラサキ、  
キバナオウギ、メハジキ

5) 薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議

(薬用植物国内栽培事業委員会)

① 第4回薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

- ・場 所：八峰町・美郷町栽培地圃場
- ・連携協定を締結している全国7自治体の担当者と、協会からは会長を始め栽培指導員における合同会議。

② キキョウ栽培に関する情報交換会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

- ・開催日：令和4年2月1日(火)
- ・場 所：公益社団法人東京生薬協会 東神田藤井ビル7階
- ・連携協定を締結し、キキョウ栽培をしている全国5自治体の担当者、協会から会長を始め栽培指導員による会議。

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修

(学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修。

① 薬用植物園研修

- ・開催日：令和3年10月30日(土)
- ・場 所：長沼公園(八王子市)
- ・参加者：31名

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

## ■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

### 1) 賀詞交歓会の実施（新年のご挨拶）

（事務局）

- ・開催日：令和4年1月31日（月）16：00～17：00
- ・神田明神・文化交流館＋オンラインで実施（zoom）
- ・会場：神田明神・文化交流館
- ・ビデオメッセージ：小池 百合子様（東京都知事）、野瀬 豊様（高浜町長）、
- ・会場ご挨拶：武見 敬三様（参議院議員）、黒川 達夫様（OTC協会理事長）、  
山本 信夫様（日本薬剤師会会長）、樋口 高顕様（東京都千代田区長）、  
後藤 雄次様（東京都医薬品登録販売者協会会長）
- ・オンライン挨拶：松田 知己様（美郷町長）、日沼 一之様（八峰町副町長）、  
永松 悟様（杵築市長）
- ・アクセス数：90 団体

### 2) 薬用植物生け花展・標本展の実施

（事務局）

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

「薬と健康の週間」（東京都）行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力。

- ・開催日：令和3年10月15日（金）
- ・会場：昭和薬貿ビル2F直会会場

### 3) MCMIA（現代化中医薬国際協会）との交流

（事務局）

- ・令和3年8月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園、  
薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM 展示会場、衛生局訪問

## II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	1回	6月					
理事会	2回	6月	3月				
会計、業務監査	1回	5月					
総務委員会	2回	5月	3月				
総務規程WG	3回	4月	5月	12月			
学術委員会	6回	4月	6月	8月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
事業管理委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
薬用植物国内栽培事業委員会	2回	4月	2月				

## III. 会員数及び入退会

1. 会 員：135名
2. 期首会員数：137名
3. 期末会員数：135名
4. 入会（3件）
  - 法人正会員：1名
  - 個人正会員：1名
  - サポーター：1名
5. 退会（5件）
  - 法人正会員：2名
  - 個人正会員：1名
  - サポーター：2名

以 上